

## ★札幌座の感染症対策

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことに伴い、政府の基本的対処方針及び業種別ガイドラインが廃止となりました。これを踏まえ、5月8日以降、札幌座では以下の感染症対策を行ってまいります。引き続き、公演・ワークショップの際には、皆さまに安心してご来場・ご参加いただくことができますよう、感染症予防対策を講じて安全の確保に努めてまいります。ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

- ・発熱や体調不良時には、劇場やワークショップ会場へのご来場をお控えください。
- ・劇場施設内でのマスク着用は、個人の判断となります。混雑時や感染の再拡大等、必要に応じてマスクの着用をお願いする場合がありますことをご理解ください。
- ・施設内でのせきエチケットにご協力ください。
- ・劇場施設内は常時換気を徹底しております。冬場は寒くなる場合もございますので、上着などの着用のご協力をお願いいたします。
- ・利用者が触れる場所は消毒を施し、安全な上演・ワークショップの実施を心がけます。
- ・スタッフは手洗いや手指消毒をおこない、基本的な感染症対策を行います。また状況に応じて、受付や場内誘導の際にスタッフがマスクを着用する場合がございます。ご理解ください。

★札幌座は、すべてのスタッフ・出演者の体調チェックを徹底し、公演ごとに客席、ロビー、トイレなどの消毒を施し上演中も換気に努め、安全な上演を心がけます。

★札幌座の感染症対策の取り組みは、道内の感染拡大の状況によって変更する場合があります。札幌座ホームページ<<http://www.sapporoza.com>>の下にある「新着情報」で最新の取り組みをご確認のうえご来場ください。

2023年5月8日

公益財団法人 北海道演劇財団

芸術監督 清水 友陽